

アジア健康構想下におけるベトナムとの 案件形成可能性調査

最終報告書(概要版)

MRI 三菱総合研究所

2026年1月

創薬・健康エコシステム本部 海外部

1. 本調査の概要	3
2. 高齢化及び栄養分野等における日越の知見交換を通じた案件形成可能性調査	
2.1 日本の知見に関心があるカウンターパートの調査	4
2.2 HMUHロードマップに関連する知見を持つ日本の有識者の調査	5
2.3 HMUHロードマップに関連する日本企業の現地ビジネス状況等の調査	6
2.4 高齢化及び栄養分野における日越の知見交換に向けたワークショップ開催の運営支援等	9
3. 成果報告会	9
4. まとめ	11

1. 調査の概要

調査の背景・目的

- 日本政府とベトナム政府は、2019年7月にヘルスケア分野における協力覚書を署名している。2023年10月には、ICT医療や高齢化をテーマとして、ハノイ医科大学病院を中心とするベトナムの医療関係者とのワークショップを開催したほか、同年11月には、協力覚書の進捗を監督する第1回日越ヘルスケア合同委員会を開催した。
- 2024年11月には、ハノイ医科大学病院やホーチミン医科薬科大学とそれぞれ共催で官民セミナーを開催し、高齢化及び栄養分野における現状や課題について両国間で知見を共有するとともに、ベトナムの高齢化及び栄養課題の解決に資する日本企業のソリューションを紹介。ハノイ医科大学病院と共催した官民イベントの一環として、日本政府とハノイ医科大学病院との間で、高齢化及び栄養分野に関する日越協力のためのロードマップ(以下「HMUHロードマップ」という。)について合意した。これらの取組や調査結果は、2024年12月に開催した第2回日越ヘルスケア合同委員会における日本側発表にも活用され、今後も日越間の連携を継続していくことが確認された。
- 2025年度は、HMUH ロードマップ等に基づき、高齢化及び栄養分野をはじめとする保健分野における日越間の知見交換を通じて、アジア健康構想におけるベトナムの保健課題解決及び日本の健康・医療関連産業のベトナム展開促進を目的とした案件組成の可能性について調査を行った。

[調査スケジュール(2025年度)]

日程	主な実施事項
6月	<ul style="list-style-type: none">• 本委託事業のキックオフ• 日本の知見に関心があるカウンターパートの調査(ハノイ医科大学病院を念頭に調査)• HMUH ロードマップに関連する知見を持つ日本の有識者の調査(高齢化は確定。栄養は有識者候補と面談を実施。)• 成果報告会の日程決定• HMUH ロードマップに関連する日本企業の現地ビジネス状況等の調査(日本企業及び業界団体へのヒアリング及びアンケートの実施)
7月	<ul style="list-style-type: none">• カウンターパート候補であるハノイ医科大学病院へのオンライン及び現地におけるヒアリングを実施• 日本の有識者候補の検討及び確定• ハノイにおけるイベント開催日程を決定
8月	<ul style="list-style-type: none">• 日本企業への声かけ及びヒアリングの実施

日程	主な実施事項
9月	<ul style="list-style-type: none">• 日本企業への声かけ、ヒアリングの実施、登壇企業の確定• ハノイにおけるイベントに向けた調整
10月	<ul style="list-style-type: none">• ハノイにおけるイベントに向けた詳細調整• 日本企業と有識者の間における意見交換
11月	<ul style="list-style-type: none">• ハノイにおけるイベントに向けた詳細調整
12月	<ul style="list-style-type: none">• ハノイにおけるイベントを開催(“Viet Nam and Japan: Discussion for Future Cooperation Based on the Roadmap on Aging and Nutrition”) (2025年12月15日)• 成果報告会に向けた調整
1月	<ul style="list-style-type: none">• 成果報告会「アジア健康構想におけるベトナムの保健課題解決を目指す日本企業交流セミナー」の開催(2026年1月15日)• 最終報告書の作成

2. 高齢化及び栄養分野等における日越の知見交換を通じた案件形成可能性調査

2.1 日本の知見に関心があるカウンターパートの調査

- 本調査では、本事業のカウンターパートとなるベトナムの公的・民間病院との意見交換を通じて、HMUHロードマップに記載されたベトナムの保健課題の具体的内容や、日越の知見交換に対する要望及びその優先度について調査した。
- 具体的には、2025年7月3日にオンライン会議を実施したほか、同年7月17日にはハノイ医科大学病院内の会議室において対面での意見交換を行った。さらに、本調査のカウンターパートであるハノイ医科大学病院以外の関係機関についても、HMUHロードマップに記載された保健課題や日越知見交換に関する要望等を把握するため、ハノイにて対面ヒアリングを実施した。面談の概要は、以下のとおりである。

[カウンターパートへのヒアリング(ハノイ医科大学病院やハノイ医科大学から示されたニーズ)]

高齢化	栄養
<ul style="list-style-type: none">・ 高齢者向けデジタルヘルスや、コミュニティベース・家庭における高齢者ケア(広義の「地域包括ケア」)に関する取組、ならびに高齢化対策に関する政策面での知見共有・ 民間企業による高齢者向け製品・サービスを展示・紹介する場・ 日本における要支援・要介護度の評価方法及び、各レベルに応じた製品・サービス・ 歩行支援機器や転倒・転落予防、身体機能の維持・筋力強化を目的とした製品・福祉用具のほか、センサーやチップ等を活用して動作や身体機能を評価する製品	<ul style="list-style-type: none">・ 嚥下食や栄養介入の評価キット、食品安全管理キット(細菌検査キット等)・ 高齢者向けの栄養補助食品や栄養食・ 入院患者や来訪者等に提供される病院食における栄養管理・ ベトナムに拠点を有し、ベトナム国内で速やかな導入が可能な日本企業・ 栄養士をはじめとする栄養分野の人材育成(特にがん患者に対する栄養管理を担う人材の育成)・ 高齢者の栄養に関する課題(栄養失調、筋力低下、肥満、嚥下障害等)

2. 高齢化及び栄養分野等における日越の知見交換を通じた案件形成可能性調査

2.2 HMUHロードマップに関連する知見を持つ日本の有識者の調査

- 昨年度の登壇者からの推薦等に基づく事前のヒアリングや、ハノイ医科大学病院へのヒアリング結果を踏まえ、有識者候補を選定した。

[有識者ヒアリング]

氏名	所属
肥後 裕輝	九州大学 留学生センター 教授、 九州大学 アジア・オセアニア研究教育機構(Q-AOS) エイジングモジュール長
五味 郁子	神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 栄養学科 教授

※その他、2名の方々にもヒアリングを実施。

[有識者ヒアリングにより得られた主な意見]

高齢化	栄養
<p>ベトナムに共有すべき内容</p> <ul style="list-style-type: none">• 日本の地域包括ケアの全体像(一般論)• 福岡市等の事例等: 地域の実情に即したコミュニティベースのケア• 将来の課題・展望 <p>登壇者構成の考え方</p> <ul style="list-style-type: none">• 要介護者へのケアに加え、介護予防の視点が重要• 登壇企業のうち1社は介護予防に取り組む企業を含める	<p>ベトナムに共有すべき内容</p> <ul style="list-style-type: none">• 嚥下食の紹介に加え、嚥下障害の評価(アセスメント)• 評価結果に応じた適切な介入• 嚥下機能の回復を目指した栄養管理体制• 対応の考え方<ul style="list-style-type: none">✓ 嚥下食のみではなく、嚥下状態に応じた食品提供✓ 嚥下造影検査等の評価手法も含めて検討 <p>関連企業例</p> <ul style="list-style-type: none">• 嚥下食・栄養補助食品を取り扱う企業• 栄養状態の評価(アセスメント)ツールを提供する企業

2. 高齢化及び栄養分野等における日越の知見交換を通じた案件形成可能性調査

2.3 HMUHRoadマップに関連する日本企業の現地ビジネス状況等の調査

- **ベトナム側ニーズの把握**

ハノイ医科大学病院へのニーズ調査を実施し、高齢化・栄養分野における課題を整理。

- **日本企業への調査・選定**

ベトナム側ニーズ及びHMUHRoadマップを踏まえ、日本企業・関連業界団体へのアンケート(40社回答)と企業ヒアリングを実施し、登壇企業を選定。

[HMUHRoadマップ記載の製品・ソリューションを提供している
とアンケート調査に回答した日本企業]

[ハノイでのイベントの登壇企業一覧]

分類	ベトナムで展開している、 または展開予定の製品・ソリューション	はい	いいえ	合計
高齢化	HMUHRoadがん検診センター内医療機器	5	35	40
	電子カルテ	2	38	40
	地域包括ケアシステムを支える情報共有システム	3	37	40
	見守りセンサー(カメラ系、バイタル系等)	3	37	40
	訪問介護による見守り	2	38	40
	認知症予防用品	2	38	40
	慢性疾患モニタリング	2	38	40
	健康スコアリングサービス	1	39	40
	健康管理・指導サービス(アプリ系等)	6	34	40
栄養	栄養剤	2	38	40
	とろみ剤	2	38	40
	ユニバーサルデザインフード	1	39	40
	残食自動計算システム	0	40	40
	配膳効率化ツール(例:ICチップ)	0	40	40
	食品安全機器(大腸菌等の微生物検査機器・ フードコンテナ・保温カート等)	3	37	40
	調理機器	0	40	40

分野	企業名	ソリューション概要
高齢化	インフィック株式会社	介護施設運営、 高齢者見守りセンサー等
	ウェルコンサル株式会社	医療・介護サービス等
	パラマウントベッド株式会社	ベッド・高齢者見守りセンサー等
栄養	カーブジェン株式会社	細菌菌種推定支援等
	キッコーマンバイオケミファ株式会社	ATP拭き取り等
	キューピー株式会社	ユニバーサルデザインフード、 サラダ、栄養剤、とろみ剤等

2. 高齢化及び栄養分野等における日越の知見交換を通じた案件形成可能性調査

2.4 高齢化及び栄養分野における日越の知見交換に向けたワークショップ開催の運営支援等

- 2025年12月、令和6年度に日本政府とハノイ医科大学病院との間にて合意した「高齢化及び栄養関連の課題における日越協力のためのロードマップ」のフォローアップを目的とし、今回、“Viet Nam and Japan: Discussion for Future Cooperation Based on the Roadmap on Aging and Nutrition”を実施した。

[開催概要]

目的	令和6年度事業にて合意した、日本政府とハノイ医科大学病院との間における「高齢化及び栄養関連の課題における日越協力のためのロードマップ」に係るフォローアップ
主催/共催	内閣官房 健康・医療戦略室 / ハノイ医科大学病院
日時	2025年12月15日(月) 高齢化セッション 9:00-12:00、栄養セッション 13:30-16:30
場所	ベトナム（ハノイ医科大学病院）

[プログラム]

高齢化セッション

時間	アジェンダ
9:00-9:10	開会挨拶
9:10-9:20	「アジア健康構想」及び「高齢化及び栄養関連の課題における日越協力のためのロードマップ」の概要 - 内閣官房 健康・医療戦略室
9:20-9:45	Disease model of elderly inpatients at Hanoi Medical University Hospital in 2024 - Ho Thi Kim Thanh Vice Principal, Hanoi Medical University
9:45-10:10	ディスカッション
10:10-10:35	Japan's Community-based Integrated Care System: Lessons for Aging Vietnam - 肥後 裕輝 九州大学留学生センター 教授、九州大学アジア・オセアニア、研究教育機構 (Q-AOS) エイジングモジュール長
10:35-11:00	ディスカッション
11:00-11:10	休憩
11:10-11:25	ベトナムにおける高齢化関連の課題に対するビジネスの展望、Q&A・ディスカッション
11:25-11:40	- インフィック株式会社、ウェルコンサル株式会社、パラマウントベッド株式会社
11:40-11:55	
11:55-12:00	閉会挨拶

栄養セッション

時間	アジェンダ
13:30-13:35	開会挨拶
13:35-14:00	Nutritional status of the elderly in Vietnam and some intervention solutions - Tra Vi Department of Nutrition & Dietetics, Hanoi Medical University Hospital
14:00-14:15	ディスカッション
14:15-14:40	Achieving Healthy Longevity Through Nutritional Care - 五味 郁子 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 栄養学科 教授
14:40-15:00	ディスカッション
15:00-15:10	休憩
15:10-15:30	ベトナムにおける栄養関連の課題に対するビジネスの展望、Q&A・ディスカッション
15:30-15:50	- カーブジェン株式会社、キッコーマンバイオケミファ株式会社、キュービー株式会社
15:50-16:10	
16:10-16:30	閉会挨拶

2. 高齢化及び栄養分野等における日越の知見交換を通じた案件形成可能性調査

2.4 高齢化及び栄養分野における日越の知見交換に向けたワークショップ開催の運営支援等

- 本イベントには、ベトナム側から、ハノイ医科大学病院のHuong (President of the Hanoi Medical University Council)をはじめとする医療関係者7名が参加し、日本側からは25名が参加した。
- 本事業における事前調査を踏まえ、ベトナムの保健課題解決に資すると考えられる高齢化及び栄養分野のそれぞれに関するソリューションを有する日本企業が登壇したほか、昨年登壇した日本企業からは、これまでのソリューション展開に関する進捗報告が行われ、日本企業のソリューションがベトナムの保健課題解決に貢献する可能性が示された。
- 高齢化及び栄養の各分野について、日ベトナム双方の有識者が、ベトナムにおける課題の現状及び日本の取組に関するプレゼンテーションを行い、両国の取組に関する知見の共有が行われた。
- さらに、高齢化及び栄養をテーマに、日本企業からソリューションの紹介がなされ、活発なディスカッションが交わされた。
- ベトナム側からは、ハノイ医科大学病院をモデル拠点として、日本の地域包括ケアや介護・栄養分野の知見を取り入れた「ベトナム版・日本型高齢者ケアモデル」を構築し、全国展開につなげたいとの要望が示された。併せて、制度・モデル設計に関する知見共有、人材育成支援、日本企業と連携した技術・製品の“Proof of Concept”（現場での実用性や効果を小規模に検証する取組）、住民・医療従事者への啓発を含む一体的な協力への期待が示された。



ワークショップの参加者



ワークショップの討議風景

3. 成果報告会

- 2025年1月、本年度事業の成果報告、及び現地の保健課題・今後の戦略等の情報共有等を目的として、「アジア健康構想におけるベトナムの保健課題解決を目指す日本企業交流セミナー」を開催した。

[開催概要]

目的	12月のイベント参加者のフォローアップ、ベトナムに進出中/進出予定の日本企業を対象とした現地の保健課題等の情報発信
主催	内閣官房 健康・医療戦略室
日時	2026年1月15日(木) 13:30-16:30 ※15:30-16:30は参加者交流会を実施(現地参加者のみ)
場所	東京 (株式会社三菱総合研究所 4階 大会議室)

[プログラム]

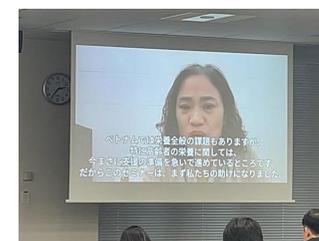
時間	アジェンダ	登壇者
13:30-13:35	開会挨拶	林 禎二 内閣官房 健康・医療戦略室 国際保健担当大使
13:35-13:45	令和7年度事業に関するご報告	内閣官房 健康・医療戦略室
13:45-14:30	12月のイベント参加企業からの成果発表	インフィック株式会社、ウェルコンサル株式会社、 パラマウントベッド株式会社、カーブジェン株式会社、 キッコーマンバイオケミファ株式会社、キューピー株式会社
14:30-14:40	12月のイベントの所感と日本に対する今後の期待について	Ho Thi Kim Thanh Vice Principal, Hanoi Medical University、 Nguyen Thuy Linh Head of Department of Nutrition & Dietetics, Hanoi Medical University Hospital
14:40-15:15	有識者によるパネルディスカッション	肥後 裕輝 九州大学留学生センター 教授、九州大学アジア・オセアニア、 研究教育機構(Q-AOS) エイジングモジュール長 五味 郁子 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 栄養学科 教授 林 禎二 内閣官房 健康・医療戦略室 国際保健担当大使
15:15-15:25	日本政府・関係機関からのコメント	経済産業省、厚生労働省、 独立行政法人 国際協力機構(JICA)、 独立行政法人 日本貿易振興機構(JETRO)
15:25-15:30	閉会挨拶	林 禎二 内閣官房 健康・医療戦略室 国際保健担当大使
15:30-16:30	参加者交流会	

3. 成果報告会

- 本イベントには、登壇者を含め現地参加者として56人が参加し、オンラインでは53名が視聴。
- 内閣官房から、アジア健康構想及び2025年度事業に関する報告を実施。
- 2025年12月にハノイでハノイ医科大学病院と共催したイベントである“Viet Nam and Japan: Discussion for Future Cooperation Based on the Roadmap on Aging and Nutrition”に登壇した日本企業6社からプレゼンテーションが行われた。内容として、2025年12月のイベントを踏まえた所感や、ハノイ医科大学病院及びハノイ医科大学との今後の事業展開に関する方向性について発表があった。
- 有識者からは、各々の専門分野の観点から、ベトナムの保健課題に対する認識や、日本企業に対する意見が共有された。続いて、アジア健康構想の関係省及び関係機関から、本報告会への講評及び各種支援・取組の紹介が行われた。最後に、対面における参加者交流会においても、活発な意見交換や情報共有が行われた。



成果報告会の参加者



成果報告会の討議風景

4. まとめ

結果のまとめ

- 本事業では、ベトナムにおける高齢化及び栄養関連の課題に関する日越協力のためのロードマップに基づき、ハノイにおいて官民イベントを開催し、ベトナムの保健課題に対応し得る日本企業のソリューションや、高齢化・栄養分野における日本の政策知見及び協力事例等について、日越間で共有した。
- ハノイ医科大学病院からは、日本の地域包括ケアや介護・栄養の知見を取り入れた「ベトナム版・日本型高齢者ケアモデル」を構築し、全国展開に繋げたいとの期待が示された。また、日本側には、制度・モデル設計に関する知見の共有、人材育成支援、日本企業と連携した技術・製品の“Proof of Concept”（現場での実用性や効果を小規模に検証する取組）、さらには住民や医療従事者への啓発等への一体的な協力への期待が寄せられた。

今後の方向性

- 今後の方向性として、ハノイ医科大学病院をカウンターパートとし、日本企業のソリューション導入等を通じた具体的な実績づくりが考えられる。具体的には、今年度調査で示されたハノイ医科大学病院からの期待に応える日本企業のソリューションについて、実証研究や販売等を支援するとともに、追加的な日本企業のソリューション紹介を行うことが考えられる。
- 2026年にはベトナムとの協力覚書(MOC)(2019年署名)から約7年が経過することを踏まえ、日本側ソリューションの棚卸しを行うとともに、ベトナム保健省の期待事項の最新状況を把握し、相互の認識を改めてすり合わせることを今後の方向性として考えられる。

今後の期待

- ベトナムにおいては、保健省をカウンターパートとする取組の拡大が期待される。具体的には、保健省とのロードマップの合意及びそれに沿った日本企業のソリューション提案や、日本の政策知見の共有等が考えられる。
- アジア健康構想、アフリカ健康構想及びグローバルヘルス戦略を引き続き一体的に推進し、アジアにおける我が国の健康・医療関連産業の国際展開を図るとともに、産学官医の現地キーパーソンと連携した枠組みの整備を進め、国際機関等との協力を含む多様なステークホルダーとの連携が期待される。